

資料

熊野町立地適正化計画に関わる住民意見聴取会

熊野町観光大使
ふでりん
FUDERIN



～ 筆にのせて 未来を描く まちづくり ～

住民意見聴取会(ワークショップ)の実施

令和5年2月25日に住民意見聴取会を実施しました。

住民意見聴取会では、地域の方との対話を通じて、それぞれの地域の特性や詳細なまちづくりの課題を把握するとともに、住民の方が主体となって将来の方向性についての検討を行いました。

■開催概要

<p>目的</p>	<p>これまで検討を進めてきたまちづくりに関する課題の抽出・整理に加えて、熊野町立地適正化計画で定める事項の検討を進める上で、その判断材料となる町内3地域（東部地域・中央地域・西部地域）の地域特性や各地域が抱える課題等を、地域の方との対話を通じて、詳細に把握していくことを目的とする。</p> <p>また、各地域のテーマを議題とする意見交換（ワークショップ形式）を実施し、各地域で考える将来像の実現に向けた今後のまちづくりのアイデア等も伺いながら、各地域において取り組むべき課題（まちづくりのターゲット）を明確化していくことも目的とする。</p>
<p>開催日時 場所</p>	<p>令和5年2月25日（土曜日） 西部地域：9時30分～11時30分 （熊野西防災交流センター） 東部地域：13時00分～15時00分 （熊野東防災交流センター） 中央地域：16時00分～18時00分 （熊野中央防災交流センター）</p>
<p>参加者</p>	<p>西部地域（川角，平谷，貴船，石神，神田，柿迫，東山）：17名 東部地域（初神，新宮）：7名 中央地域（呉地，出来庭，中溝，萩原，城之堀）：14名</p>

■ワークショップの様子



住民意見聴取会(ワークショップ)の実施 [東部地域]

■主な意見等 (東部地域)

	良い所	<ul style="list-style-type: none"> ○きれいな水, おいしいお米, 自然豊かで空気がきれい ○田園風景(田・畑)や第二小学校, 榊森神社・城山など, 自然環境, 昔からあるものが多い ○農業が盛んで, 地域資源となる農産物がある ○長年住んでいる方が多い(顔見知り) ○地域のコミュニティを支えるNPO法人がある(地域の宝) ○熊野東防災交流センター(料理教室等, 色々なプログラムがある) ○おでかけ号(助かる)
	地域特性 問題 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化による農業の継続困難, 田んぼの担い手・後継者不足→荒廃地・太陽光発電の増加 ○町外の病院へのアクセス(広電熊野営業所までの交通手段が不便) ○おでかけ号は便利だが, 乗る人が限定されているため改善必要(満員で乗れない) ○バス停までの距離が遠い集落がある ○運転免許返納後の日常的な買い物(萩原地区までのアクセス手段) ○緊急車両が入れない4m未満の道路がある ○診療所等が身近な場所がない ○若者の減少による地域の持続性の低下, 働く場所がない ○新しいアパート等に住んでいる方々とのコミュニティの問題 ○新宮向田団地の高齢化(団塊の世代が多く, 子どもが少ない) ○若者の減少による消防団員数の減少(30代~40代の人材の確保困難) ○借り手のない空き家の問題 ○土砂災害の危険性が高い場所が多い ○新宮は高低差があり, 新たな開発が難しい ○災害により, 三谷川がきれいな川でなくなった

住民意見聴取会(ワークショップ)の実施 [東部地域]

人口流出・高齢化による農地の荒廃化，田園風景の保全，医療資源等の不足，公共交通環境（高齢者等の移動の制約），地域の持続性の低下⇒活性化の必要性（広域交通アクセスの向上），防災リスクの存在，団地の高齢化と一人世帯化，緊急車両の進入困難な道路の存在 等

■主な意見等（東部地域）

提案・要望等	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○今あるいいもの（地域の資源）を次の世代に伝えていきたい ○ふれあい館，地域のNPOとの連携強化（将来を見据えて，地域を盛り上げる） ○農業をしたい人を外から呼び込み地域を活性化→今の環境を守るために農地を活用。 ○東広島バイパス方面や海田町との繋がり強化（利便性の向上・災害時の安全安心） →10年・20年先を見据えた夢のある計画に ○地域を維持していくためにも，働く場所が必要 ○防災センターや深原地区公園を中心とした地域の拠点の整備（シルバー人材を活用）
	提案・要望	<ul style="list-style-type: none"> ○（仮）新峠線の整備（海田町に抜ける道路） →地域のポテンシャルの向上，災害時のリダンダンシーの確保 ○緊急車両侵入困難箇所の解消 ○路線バスを廃止→おでかけ号のような乗りやすいコミュニティ交通の充実（増便） ○深原地区工業地への産業の呼び込み→地区外からの住民の呼び込み→活性化 （東部地域に移住する若者への補助金等⇒安全な場所への新しい住宅の誘導） ○東部地域に1箇所は内科や歯科が必要 ○農業が好きな方に農地や農業機具を貸せる仕組み（あわせて農業も教えてあげる） ⇒地域資源を守る（ジビエ，いちご，ぶどう，長ネギ），綺麗な三谷川の復活 ○健康ポイントの充実（高齢者が地域づくりに参画するためのメリット）

住民意見聴取会(ワークショップ)の実施 [中央地域]

■主な意見等 (中央地域)

	良い所	<ul style="list-style-type: none"> ○ほどよい都会感, ほどよい田舎感 (自然環境が豊かで, 子育て環境として良い) ○小さなまちとしてのまとまり感 (充実したコミュニティがあり, 安心して子育てできる) ○商店や診療所等も身近な場所にあり, 今は便利。(スーパー・ドラッグストア等は充実) ○車があれば便利に暮らせる (熊野道路の無料化→町外の病院へもアクセスしやすい)
	地域特性 問題 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○狭隘道路が多い (狭くて危険, 公共交通も入れない) ○旧道へ迂回する通過交通の流入が多くて危険, 北部農道はスピードを出す車が多い ○県道 (矢野安浦線) に接続する縦方向の生活道路の不足 ○熊野道路の無料化に伴う交通量の増加 (渋滞) ○アップダウンが多く, 自転車を利用しにくい, ガソリン代等もかかる <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通ネットワークが不便 (バス停までの距離遠い, 通学: 矢野駅へのアクセスが課題) ○公共交通では広島市内に出にくい (車では行きやすい⇔公共交通を利用しない) ○おでかけ号は利用しにくい (利用者が限定, 日常的な利用者に遠慮して乗れない) <ul style="list-style-type: none"> ○車がなければ不便 (運転免許返納後の生活懸念, 将来の生活サービスの存続性も懸念) ○子どもが喜ぶ飲食店 (ファーストフード等) がない ○入院できる病院がない <ul style="list-style-type: none"> ○公園が少ない (ボール遊びの公園, 子どもが1人で遊べる公園, 散歩でいける身近な公園) ○熊高生など, 高校生が遊べる場所がない。(遊戯・娯楽) <ul style="list-style-type: none"> ○道路が狭い所では, 空き家等が発生 <ul style="list-style-type: none"> ○若い人が町内会や子供会などに入会しない ○若年層の町外への流出 <ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害等のリスク, 避難所の安全性の問題, 高齢者等の避難場所へのアクセスの問題 ○非常時 (大雪時など) の熊野トンネルの通行止め (町外へ出れなくなる)

住民意見聴取会(ワークショップ)の実施 [中央地域]

狭隘道路等の問題, 自転車等の利用環境, 地域の持続性や生活サービスの充実(飲食店, 医療施設, 若者向け施設), 自家用車への依存・高齢者の交通問題, 公園の不足, 災害対策(避難場所の問題), 地域コミュニティの問題, 観光振興



■各地区での主な意見等(中央地域)

提案・要望等	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが大きくなっても町外に転居せず, 生活ができるまちの実現 ○高齢になっても熊野町に住み続けることができる対処 ○新しい人を呼び込める魅力ある場所づくり(特徴あるまちづくり) 例: スポーツするなら熊野(女子サッカー等のまちづくりへの活用) ○東広島方面に目を向けたまちづくり(県道矢野安浦線バイパスの整備を活かす)
	提案・要望	<ul style="list-style-type: none"> ○町道整備, 県道矢野安浦線(現道)と本通り(旧道)を結ぶ生活道路の整備(新設・拡幅) ○旧道(商店街通り)における歩きやすい環境の実現(時間帯による通行規制等) ○北部農道の速度規制
		<ul style="list-style-type: none"> ○住民と行政の協働によるおでかけ号の運行改善 ○自動運転バスの運行(20年・30年先を見据えた町内外の移動環境の検討) ○筆の里工房に訪れた観光客が回遊できる環境 (観光に特化した賑わいづくりのための仕組みづくり)
		<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関が集約された施設の設置, 入院できる病院や療養型病院の誘致 ○ハローズ周辺等の利便性が良い場所への飲食店の誘導 ○高校生等, 若い人が楽しめる場所づくり(娯楽施設等の誘致)
		<ul style="list-style-type: none"> ○公園整備とあわせた避難場所の確保 ○アーバンスポーツができる公園

住民意見聴取会(ワークショップ)の実施 [西部地域]

■主な意見等 (西部地域)

	良い所	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市・東広島市方面への交通アクセス性 ○田舎ならではの豊かな自然環境 ○昔から住んでる人が多く、顔見知り (安心して子育てができる) ○熊野モールが近くて便利、広電熊野営業所も近くにある ○熊野団地は土砂災害の危険性のある場所が少ない ○地域活動を行うための公園が近くにある
	地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ○幹線道路の渋滞⇒団地内への通過交通の流入 (団地内の歩道が狭くて危険、速度規制の道路標示が消えている) ○見通しの悪い危険性の高い交差点が多い (熊野団地) ○幹線道路の交通量の増加 (平谷交差点の横断歩道が危険) →東広島BPの整備により大型車の交通量がさらに増加していくことが懸念
	問題・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○おでかけ号の利用者が少ない (将来も存続するか不安) ○筆の里工房周辺へのアクセス性 (公共交通では行けない) ○運転免許返納後の日々の買い物、町内バス路線の便数の少なさ
		<ul style="list-style-type: none"> ○大規模商業施設や子どもと行ける飲食店 (チェーン店) が近くにない ○広島市や呉市など町外の生活サービスへの依存 ○地域ならではの身近なお店の消失に対する懸念
		<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設等の利用性 (似たような施設があるが、地元の人あまり利用していない)
		<ul style="list-style-type: none"> ○坊主山商店街に駐車場がなく不便、坊主山商店街の空き店舗の増加
		<ul style="list-style-type: none"> ○遊具のある公園が少ない、小さな子どもが安心して遊べる公園がない (利用者の混在)
		<ul style="list-style-type: none"> ○所有者等と連絡がつかない空き家等の増加
		<ul style="list-style-type: none"> ○若い人のコミュニティや自治会の関心度の低下 (会員数等の減少) ○コミュニティの結束力の低下 (災害時の連絡体制等の不安)

住民意見聴取会(ワークショップ)の実施 [西部地域]

渋滞対策, 通過交通の流入抑制, 商業施設に対する不満, 既存商業集積の消失, 公共施設等の運営改善, 災害リスクへの対処, 地域コミュニティの衰退, 空き家等の問題の顕在化, 町内公共交通の存続性



■各地区での主な意見等 (西部地域)

方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市内へのアクセスの良さ, 自然環境の豊かさなど, 熊野町の魅力を保全 →今ある良さはそのままに, 便利な場所はより便利にメリハリのあるまちづくり ○各々が楽しく暮らせるまち (大人が楽しめるまち=子どもも楽しめるまち) ○西部地域は熊野の西風新都 (働き世代が住みやすく, 広島に就職する人に選択される町) ○三世代交流のまちづくり ○行政と住民の連携によるまちづくり
	<ul style="list-style-type: none"> ○熊野団地でのゾーン30の指定 (速度規制), 規制表示標識等の設置, 通過交通の通行止め
提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ○広島・呉・東広島のトライアングルを活かした交通システムの充実 (通勤環境) ○西部地域⇄筆の里工房周辺エリアの公共交通手段の確保 (アクセス改善) ○おでかけ号の増便, きめ細やかなルート設定, 運行に係る情報発信
	<ul style="list-style-type: none"> ○坊主山商店街での駐車場の整備 (商店街の利便性向上) →駄菓子屋など地域ならではの店の維持, 坊主山商店街の復活 ○熊野モール周辺への大型商業施設やファーストフードの誘致
	<ul style="list-style-type: none"> ○坊主山緑地の再整備
	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家の活用助成, 空き家バンク, 住宅取得に係る補助金の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ○二河川の浸水対策の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ○元気な高齢者の活用 (清掃活動, ボランティア等), コミュニティ活動のきっかけづくり ○熊野町の特産物, 地ビール醸造所等の新たな資源づくり, 産直市場の整備 ○筆の里工房を中心としたコミュニティ活動の拠点づくり ○町長と直接意見交換ができる仕組みづくり (住民と行政のホットライン)
	<ul style="list-style-type: none"> ○元気な高齢者の活用 (清掃活動, ボランティア等), コミュニティ活動のきっかけづくり ○熊野町の特産物, 地ビール醸造所等の新たな資源づくり, 産直市場の整備 ○筆の里工房を中心としたコミュニティ活動の拠点づくり ○町長と直接意見交換ができる仕組みづくり (住民と行政のホットライン)